THE ROTARY CLUB OF TAKATSUKI　国際ロータリー　第２６６０地区

高槻ロータリークラブ
2018～2019
WEEKLY BULLETIN

四つのテスト

Ⅰ．真実かどうか

Ⅱ．みんなに公平か

Ⅲ．好意と友情を深めるか

Ⅳ．みんなの為になるかどうか

事務所　オーロラモール高槻西武６階　〒569-1116　高槻市白梅町 4-1
TEL　072-683-1158　FAX　072-683-1174
E-mail　takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp
例会日　毎週水曜日　12:30～13:30
例会場　オーロラモール高槻西武６階　多目的ホール　TEL　072-684-5379
創　立　1954 年 6 月 15 日
会長　伊藤智秋　**幹事**　石田佳弘　**クラブ運営委員長**　河合一人　**会報担当副委員長**　長山正剛

No.20　　2018 年 11 月 28 日　発行

11 月はロータリー財団月間

第 3143 日回 本日（11/28）の例会

◎　ソング・・・手に手つないで
◎　外部卓話　高槻市サッカー連盟
　　会長　北脇　助三郎　氏
「　サッカーU12 の育成について　」

第 3144 回　次週（12/5）の例会

◎　国歌・・・・君が代
◎　ソング・・・奉仕の理想
◎　誕生、結婚、入会記念月御祝
◎　創業記念月御祝
◎　年次総会
◎　委員会例会
◎　例会後の行事
　　12 月度定例理事会　65 周年実行委員会

先週（11/21）の例会から

◎ゲスト・ビジター　　計 0 名

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
51　名	39　名	84.78　%
前々回例会補正後出席率　91.67　%		
但し、　Mup　9　名　欠席者　4　名		
出席規定摘用免除有資格者　3　名		

◎会長の時間

創立 65 周年の高槻ロータリークラブはどんなクラブで、どんな奉仕事業を行っていたのでしょうか？
創立 40 周年の記念誌に「高槻ロータリークラブと高山右近」というタイトルで小島秋会員が寄稿されております。この寄稿文を紹介することによって、かつてのロータリアンの姿と高槻ロータリークラブの活動の一端が同時に伺えますので、少しづつ続き物でご紹介したいと思います。

小島先生は、明治 34 年 11 月生まれ　大阪医科大学付属病院顧問　昭和 29 年 12 月高槻ロータリークラブにご入会と、随分昔の方でございます。

以下投稿文章の抜粋となります。
「高槻の右近殿」として、ローマの法皇庁にまで名の通っている高槻は、徳川幕府のキリスト教弾圧の結果、高山右近をしのぶ跡が全くなくなったことは当然のことと云える。
徳川時代の高槻は３万６千石の永井侯の城下町として栄えたが、維新の際に城は壊し、城壁の石は明治８年大坂－京都間の鉄道建設の際、路線の敷石にしてしまう始末で、他の城下町にくらべて城下町としての名残を殆ど見られないままに明治～大正～昭和に至っている。
私は、昭和 10 年 1 月から大阪高等医学専門学校（現大阪医科大学）産婦人科教授として赴任、高槻に居を移して以来、八丁畷の松並木と僅かに残る城跡の一部と濠を見るくらいで城下町として貧弱極まりない町だと先ず第一に痛感した。
たまたま、昭和 29 年 12 月に高槻ロータリークラブの幹事北川氏の推薦で入会したが、クラブのバナーの図案に高山右近の陣羽織が描かれているのを見て驚嘆した。

インスピレーションになろう

RI 会長

流石に国際的クラブである高槻ロータリークラブが、高槻の初代城主高山右近を以て表していることに一入よろこびを覚えた。高槻ロータリークラブを通じて高山右近を顕彰することは、我々ロータリアンの高槻に対する奉仕の一端にしようと心に決した。

昭和 28 年 6 月創設された高槻ロータリークラブが 40 年の歴史の内で高山右近に関する事業に就いて述べることにする。

高槻ロータリークラブのバナーは高槻城主であった高山右近の陣羽織と定紋を表し、かつ高槻の「高」を図案化したものであることをまず第一にあげなければならない。国際的なロータリークラブの表識として誠に相応しいバナーというべきものと思う。

私は昭和 36 年ウィーンに於ける国際産婦人科学会に出席した際、4 ヶ月間家内と 2 人で欧米各国の大学、研究所や病院を視察してきたが、出来る限りロータリークラブに出席して、英文の高槻ロータリークラブの図案の説明文を添えてバナーを交換して、高槻と高山右近を紹介してきた。その後、学会や国際ロータリークラブの世界大会をはじめ海外に行く時にはロータリークラブに出席し、バナーの交換をして右近を紹介してきた。それに内地の分を加えると数十本に及んでいる。

今、高槻ロータリークラブに交換された数は 500 本を越えていると思うが、これは高槻ロータリークラブの諸君の尽力によって集められたものであり、高槻と右近の関係を紹介宣伝されたものと云わねばならない。

最近は、国内どころか高槻市内のロータリークラブにメーキャップに行くのも、重労働に感じられます。

昭和 36 年は一般的な海外旅行がなかった時代です。そんな昔であったからこそ、「私はロータリークラブである。」ということが信用であり、仲間意識であったのかと思います。ロータリーのバッジをつけ、バナーを手に「高槻ロータリークラブから来ました。」といえば「ようこそ！遠路はるばる。」と迎えてもらえる。

そういえば、シドニー国際大会に参加した時も空港で「ロータリアン？ＯＫ！」と、いとも簡単に入国審査を通してもらえました。国際大会の時は思い切り派手にロータリーのマークを帽子やシャツに付けた見慣れぬ人々が大勢いるのですが、何となく連帯意識を持てたように思います。せっかくロータリーに入ったのですから、国際大会に参加して頂き、その感覚を味わってみて下さい。

◎幹事報告

・2018-2019 年度地区大会が開催されます。会員の皆様多数のご参加をお願い致します。12 月 8 日(日)の地区大会の後に開かれる懇親会にもぜひご参加いただきますようお願い致します。

【地区大会】2018 年 12 月 7 日(金)　大阪国際会議場
13：00～15：00　会長・幹事懇談会
15：15～17：15　特別講演×特別対談
18：00～20：30　晩餐会（リーガロイヤルホテル）

【地区大会】2018 年 12 月 8 日(土)　大阪国際会議場
12：15～　オープニングセレモニー
13：30～17：30　本会議

【懇 親 会】2018 年 12 月 8 日(土)　銀座蔵人
18；00～　会費：￥10,000－

◎委員会報告

〇クラブ運営委員会　**大木　城司**

・忘年家族例会が開催されます。ビンゴゲーム大会、マジックショー、バルーンアートを企画しておりますので、ご家族お誘いあわせのうえご参加頂きますようよろしくお願いいたします。

【日　時】2018 年 12 月 23 日（日祝）17：30～
【場　所】山水館
【会　費】会　員　￥15,000-
会員家族　￥10,000-
子供（小学生以下）￥3,000-
子供（3 歳以下）　無料

※山水館への送迎バスございます。
※お車でお越しの方は、旧かじか荘の駐車場をご利用下さい。

◎卓話

「　火薬の話　」　**光本　智輝**

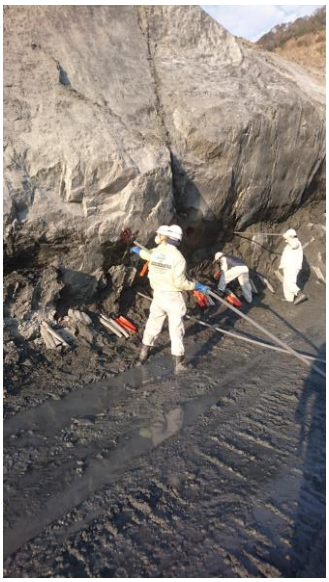
弊社では山を切り崩していくために発破作業を行っております。今回は発破作業には欠かせない火薬の話をさせていただきたいと思います。少しニッチな話になりますが、私自身、普段から火薬について話す機会もありませんので自己満足でお話しさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

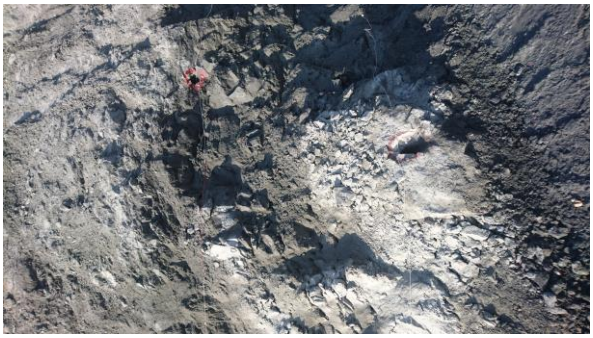
まずは火薬の歴史からお話したいと思います。火薬が使われるようになったのは西暦 1000 年以前であると言われています。黒色火薬と呼ばれるもので、用途は主に兵器での使用であり、鉄砲の点火薬や装填薬、威力の小さい手投げの爆弾などに使われていたそうです。火薬が日本に初めてやってきたのも西暦 1543 年の種子島、鉄砲伝来と共にやってきたそうです。当時は今のように火薬を平和的利用することはほぼなかったそうです。平和的利用の用途として火薬が使われるようになったのは西暦 1600 年代と言われており、江戸時代に入って花火が誕生してからの事です。花火は徳川家康が一番初めに見たともいわれ、爆発的に江戸で流行したそうです。その結果火事が頻発し、花火禁止令まででたという事があったそうです。火薬が段々平和的利用されていく中で、当時はまだ土木工事用には全く使われませんでした。土木工事用で使われなかった理由として、火薬の爆発力が小さかったので大量の火薬が必要になり、土木工事とのコストが到底合わなかった事があるそうです。考えてみると、鉄砲や花火では山を切り崩すのに確かに威力不足です。土木工事に使われるようになるにはもっと威力のあるものでなければなりませんでした。そんな中、西暦 1800 年代になってから画期的な大発明がありました。それがノーベル賞で有名なアルフレッド・ノーベルが発明した「ダイナマイト」です。ダイナマイトの原料はニトログリセリンという爆発物で、非常に鋭敏であり、少しの衝撃に反応して爆発してしまう特性を持っています。ノーベルはそれを珪藻土に染み込ませることで安定させることができる事を発見し研究の末にダイナマイトを発明しました。このダイナマイトは大変破壊力が強く、爆速が音速を超えます。厳密にいえば「火薬」ではなく「爆薬」というカテゴリーに区分されます。弊社で使用している物も厳密にいえば爆薬になります。この爆薬が発明されてから火薬が平和的利用の用途で土木工事用として広く使われるようになりました。しかし、それだけ扱いやすいものですから結局兵器としてもダイナマイトが使われるようになります。そのため、ダイナマイトを兵器として使われることに心を痛めたノーベルがその財産からノーベル賞を立ち上げたという歴史

がうまれました。もちろん弊社では爆薬を兵器として使う事はせず平和的利用しかしていませんのでご安心ください。ちなみにこのダイナマイトですが、平成２８年３月末をもって国内の火薬メーカーが生産を終了していますので、今は手に入れる事ができません。弊社もそれに代わるものとして「含水爆薬」というものを使用しておりダイナマイトより扱いやすいのが特徴です。
ダイナマイトは水に弱く濡れてしまうと爆発しにくくなるうえに、乾燥しているものに火を近づけると鋭敏に反応して爆発してしまうという扱いづらい性質があるのですが、含水爆薬は水に強く、火をつけても爆発はせずに燃えるだけという性質がありとても使いやすいです。点火する際も導火線ではなく、電気雷管というものを使います。これは、小さい筒の中に少量の火薬が入っており、脚線をつなぎ電流により小さな爆発を起こし誘爆させるというもので、導火線を使うよりも爆発のタイミングを調整しやすくとても安全です。このように、土木工事用の火薬は今日まで安全で扱いやすいように進歩してきました。

話は変わって今現在、火薬は「火薬類取締法」という法律で取り扱いを規制されています。この法律は、火薬類の製造、販売、貯蔵、運搬、消費その他の取り扱いを規制することにより、火薬類による災害を防止し、公共の安全を確保することを目的として制定されており、火薬の取り扱い資格がない者の取り扱いを禁止しています。火薬は使い方を一歩間違えると大変なことになる危険な物ですからかなり細かい規定がされております。実際に私が取得した火薬類を取り扱うのに必要な「火薬類取り扱い保安責任者」という資格の試験内容も、各火薬の原材料や特性、化学変化の方程式等の火薬学から消費などの届け出、許可の方法などの法令問題まで広範囲に渡り、細かいところでいえば火薬を臨時的に保管する火薬庫の床の高さや壁の厚さ、屋根のつくりまで問われる問題がありました。それほど細かく規定されており厳格な管理が必要です。火薬協会ではサミットの時などテロの可能性がすこしでもある時は自主的に火薬類の運搬や消費を止めています。それによって現場では１週間ほど発破が打てなくなる事がありますが、安全には代えられません。

砕石場での仕事に必要不可欠な火薬ですが、その怖さも十分に熟知し、安全に取り扱う事にこれからも努めていきたいと思います。ご清聴ありがとうございました。





◎11/21 卓上花

ガーベラ…神秘・究極の美

スプレーカーネーション…集団美

◎卓話

「　大阪北部地震を受けて－大阪ガスの地震対応　」

深野　裕一

高槻ロータリークラブさま

Daigas Group

大阪ガスの災害時対応について

2018年11月21日

大阪ガス株式会社
北部地支配人　深野

あの日の教訓は、忘れない。

1995年1月17日に発生し、各地に大きな被害をもたらした阪神・淡路大震災。
私たち大阪ガスはあの時の体験を風化させることなく、教訓をしっかり胸に刻み、
今日に至るまで、様々な備えを進めてまいりました。
災害に負けない強いインフラを目指して、これからも努力してまいります。

すべての備えは、安心のために。

ウィズガス

阪神・淡路大震災の振り返り①

Daigas Group

淡路島北部、深さ16kmを震源とするM7.3の地震が発生
阪神地域および淡路島北部で震度7。供給停止戸数86万戸に及びました

阪神淡路大震災供給停止エリア

倒壊した高架橋

液状化現象が発生したグラウンド

地下駅崩落による道路陥没

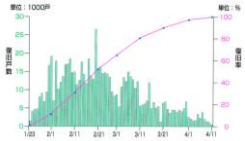
発生日時　：平成7年1月17日 5時46分
震　央　：兵庫県 北淡町
規　模　：M7.3　（震源深さ16km）
最大震度：震度7

ウィズガス

阪神・淡路大震災の振り返り②

Daigas Group

155のガス事業者と日本ガス協会より3,700名の応援をいただき、
総勢9,700名体制での懸命の活動を続けた結果、85日間で復旧完了



現場での復旧作業

工事を見学する小学生

差し入れをくださる住民の方

対策本部

ウィズガス

Daigas Group

Ⅰ.大阪ガスの震災対策の取り組み

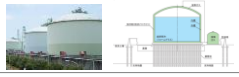
予防対策

Daigas Group

ガス製造・供給設備の耐震性・安全性向上を推進

製造供給設備

● ＬＮＧタンクの耐震性・安全性を確保
- 地下３０ｍの強固な地盤に打ち込んだ数百本の杭基礎によりタンクを支持
- ＬＮＧタンクは内槽・外槽の二重壁構造で内槽には超低温に強い特殊な金属を採用



● 球形ガスホルダーにも耐震性を追求
- 強固な地盤に打ち込んだ杭基礎によりホルダーを支持
- 球体の部分は、高強度の高張力鋼を使用

ガス導管

● 耐震性の高いガス導管を採用
ポリエチレン（PE）管の特徴
- 不等沈下、地震に強い
- 腐食しない
- 道路埋設物として十分な強度を持つ
- 融着による接合でガス漏れの心配がない

マイコンメーター

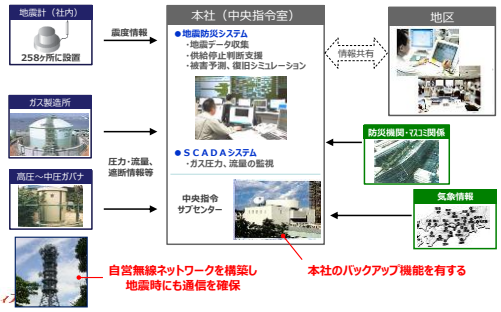
● 監視、ガス遮断機能
マイコンメーターは24時間ガスの流れや地震を監視しており、以下の場合には迅速にガスを遮断
- 大きな揺れを感知　・圧力低下
- 急激に流量が増加
- 長時間多量のガスが流れ続ける

ウィズガス

緊急対策　（情報収集機能の強化）

Daigas Group

地震計やテレメータからの情報をもとに、中央指令室にて供給停止判断や被害予測等を実施
サブセンターの設置、自営無線ネットワーク構築によりシステムをバックアップし、通信を確保



ウィズガス

復旧対策

Daigas Group

臨時供給設備の保有と復旧状況の一元管理・情報共有による復旧期間短縮

復旧支援システム

BRIDGE：災害発生から復旧に至るまでの情報をリアルタイムで管理

OG-DRESS：携帯電話での報告を行うモバイル報告システム

①地図システム上での情報一元化
重要情報を地図上で一元的に確認し、被害の影響範囲を早期に画定

②供給停止顧客の早期確定
停止エリア情報とお客さま情報を照合しお客さまリストを自動・迅速に作成

③各作業間での情報の連携
④進捗状況把握の早期化
⑤進捗状況の見える化

臨時供給

移動式ガス発生設備
災害拠点病院などの早期に復旧が求められる重要施設に対し、都市ガス供給が復旧するまでの間、代替エネルギーをより早く、計画的にお届けする

教育訓練

総合防災訓練
毎年９月を社内の「地震対策強化月間」に定め、総合防災訓練をはじめ、各種教育訓練を実施

復旧キーパーソン訓練
年１回復旧活動に特化した訓練を実施

ウィズガス

津波対策

Daigas Group

東日本大震災での被害実績や教訓を踏まえ、津波を想定した設備対策を実施

津波に備えたシステム構築

沿岸防災ブロック

南海トラフ地震による発生頻度の高い津波に対して、浸水被害が想定されるエリアのガス供給を停止できる沿岸防災ブロック（11ブロック）を構築

津波防災システム

各地点の津波到達時間、津波高さを予想するシステムを導入

津波監視カメラ

和歌山県および大阪府南部の沿岸部４箇所に津波監視カメラを設置

重要設備の機能維持対策

電気計装・制御システム等を収容する重要建物について津波への耐性を高める
- 水密化対策
- かさ上げ対策

かさ上げ後

備蓄倉庫の増設

増設の目的
- 地震復旧用の導管材料の追加備蓄
- 既設倉庫が被災した場合のリスク分散

枚方供給所内の備蓄倉庫

ウィズガス

人材育成

事故を起こさない仕組み（保安文化）を構築するため、組織的・計画的な人材育成と、作業手順の意味・背景を教える「know-whyの浸透」を推進

エマージェンシースクール

- 集合住宅や業務用店舗を模した設備で様々なガスもれ現場を再現し、緊急出動、現場到着から修繕作業開始までの措置を繰り返し学習
- 「お客さまの安全を最優先に」という意識の徹底とともに、確実な対応ができる人材を養成

ES訓練

体感型の訓練施設

- 過去に発生した様々な失敗事例から得た教訓を伝承するため、失敗時の状況を再現した体感型の訓練施設等を設け、保安レベルの向上に努めている

酸欠体感施設

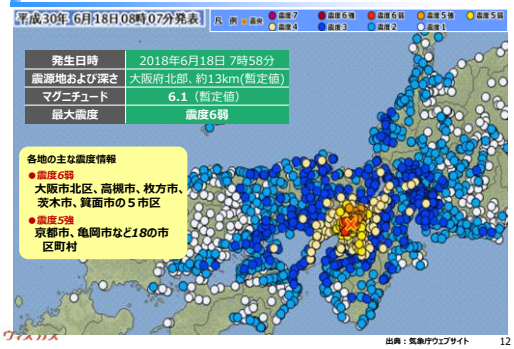
阪神・淡路大震災以降の地震対策の状況

阪神・淡路大震災以降、ガス供給設備の安全強化に努めてまいりました

主な地震対策	阪神大震災当時（1995年1月）	現状（2018年3月末）
地震計の増設	34ヵ所	259ヵ所
供給ブロックの細分化	55ブロック	164ブロック
ガス管の耐震化率	68%	87%
ＰＥ管の普及促進	延長 約1,200km	延長 約15,900km（新設低圧管は原則採用）
マイコンメーターの普及促進	約75%	約99%（家庭用は100%）

Ⅱ.大阪北部地震につきまして

大阪北部地震の概要



出典：気象庁ウェブサイト

震度５弱以上の市町村

都道府県	震度	市町村
大阪府	震度６弱	大阪北区・高槻市・枚方市・茨木市・箕面市
	震度５強	大阪都島区・大阪東淀川区・大阪旭区・大阪淀川区・豊中市 吹田市・寝屋川市・摂津市・交野市・島本町
	震度５弱	大阪福島区・大阪此花区・大阪港区・大阪西淀川区・大阪生野区 池田市・守口市・大東市・四條畷市・豊能町・能勢町
京都府	震度５強	京都中京区・京都伏見区・京都西京区・亀岡市・長岡京市 八幡市　大山崎町　久御山町
	震度５弱	宇治市　城陽市　向日市　京田辺市　南丹市　井手町　精華町
滋賀県	震度５弱	大津市
兵庫県	震度５弱	尼崎市　西宮市　伊丹市　川西市
奈良県	震度５弱	大和郡山市　御所市　高取町　広陵町

出典：気象庁ウェブサイト

大阪ガスの地震対策の基本的な考え方

これまでの地震・津波から得た教訓、国の指針に基づいた災害対策の基本的な考え方を整理

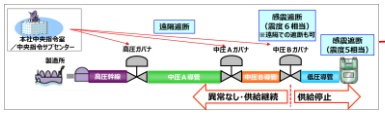
視点（目的）	地震発生時の「基本的な考え方」
人命の確保 主に初動対策	**人命を最優先**、として災害対応を実施する ❑ 初期活動として、お客さま、協力会社、グループ会社、社員の安全を確保し、災害対応を行う
保安の確保 主に緊急対応	**二次災害を防止**し、お客さまの生命・財産を守る ❑ 迅速かつ適切な緊急措置により二次災害を防止 ❑ 主要設備に適切な事前対策を行い、被害の軽減、拡大防止に努める
供給の確保	**安定供給・早期復旧・お客さま支援**に努め、お客さまの生活・経済活動を維持する ❑ 主要設備に適切な事前対策を行い、安定供給・早期復旧を図る ❑ 復旧用資機材、復旧に資するシステムなどを整備

想定災害	対策の考え方（目標）
発生頻度が高く、大きな被害をもたらす災害　（津波ならﾚﾍﾞﾙ１）	被害軽微地区において、他のライフラインに大きく劣後しない復旧を実現する。
発生頻度は低いが、甚大な被害をもたらす大災害（津波ならﾚﾍﾞﾙ２）	被害軽微地区において、早期に復旧作業に着手する

大阪北部地震の都市ガス供給停止状況

二次災害防止と早期復旧を図るため、感震遮断・遠隔遮断システムにより、111,951戸のガス供給を停止させていただきました。

	供給停止戸数
茨木市	64,254戸
高槻市	45,745戸
摂津市	1,208戸
吹田市	744戸
合　計	111,951戸



供給停止地区以外にもマイコンメーター停止件数：約170万件（推定）

都市ガス復旧作業の流れ

ブロック単位でガス供給を停止した地区の道路面のガス管を修理し、ガス供給の安全性を確認したうえで、すべてのお客さま宅を訪問し、安全を確認しました

①お客さま宅のメーターガス栓の閉栓

供給停止エリアのすべてのお客さま宅を訪問し、メーターのガス栓を閉栓する

②供給停止エリアの分割

被害の状況・規模に応じて効率的に復旧を進めるため、供給停止エリアを分割（バルブ閉止、ガス管切断など）

③ガス管の点検・修理

道路陥没状況の確認や漏洩調査により、ガス管の被害箇所を特定し、修理を行う

④ガバナーの再稼働

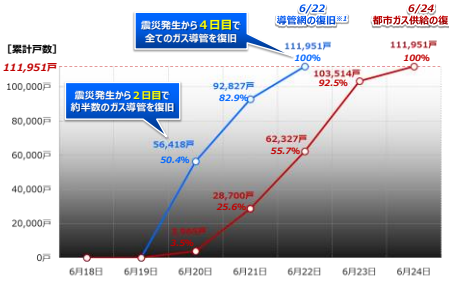
供給停止エリアにおいて、停止しているガバナを再稼働させる

⑤お客さま宅のガス管、排気筒などの点検・修理、メーターガス栓の開栓

お客さま宅を訪問し、お客さま立会いのもとでガス管・排気筒などの点検・修理を行う

ガスが安全に使える状態であることを確認し、メーターガス栓を開栓してガスの供給を再開

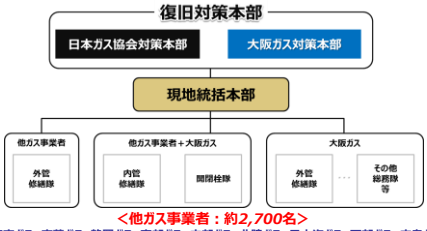
発災時からの復旧作業の推移



※1 道路面のガス管の安全が確認できたお客さまのメーター数
※2 訪問・開栓状況はご不在等により供給再開できていないお客さまを含みます

復旧体制

当社グループに他ガス事業者の応援を加えた約5,100名で復旧に対応。



<他ガス事業者：約2,700名>

東京ガス、京葉ガス、静岡ガス、東邦ガス、中部ガス、北陸ガス、日本海ガス、西部ガス、広島ガス、山口合同ガス、岡山ガス、四国ガス、名張近鉄ガス、河内長野ガス、大和ガス、大津市企業局、日本瓦斯、関西電力、東京電力エナジーパートナー、中部電力、九州電力

前線基地の確保（大阪北部地震時）

【前線基地　7ヶ所】　自治体さまの公園、大学グランド　等

ウィズガス

復旧に向けた取り組み　（道路埋設のガス管の復旧）

ウィズガス　20

重要拠点への対応（臨時供給）

病院や特別養護老人施設等の重要施設　計21件へ臨時供給を実施いたしました

臨時供給先(一部)
大阪府三島救命救急センターさま
博愛会　博愛茨木病院さま
恩賜財団　大阪府済生会茨木病院さま
東和会　第一東和会病院さま
慶徳会　老人ホーム春菊苑・光華苑さま
大阪医科大学さま
（医）愛仁会　しんあい病院さま
（医）祥佑会　藤田胃腸科病院さま
（医）成和会　ほうせんか病院さま
（福）高城会　特養出丸苑さま

ウィズガス　22

お客さまへの対応（マスメディア・行政と連携した情報発信）

テレビＣＭや新聞広告、報道番組、各行政ホームページでメーター復帰方法を周知

■新聞広告への掲載

■テレビCMでの周知

■行政ホームページへの掲載

ウィズガス　23

お客さまへの対応（カセットコンロの配布）

供給停止地域のお客さまに、カセットコンロ・ボンベを配布しました。

■配布実施拠点

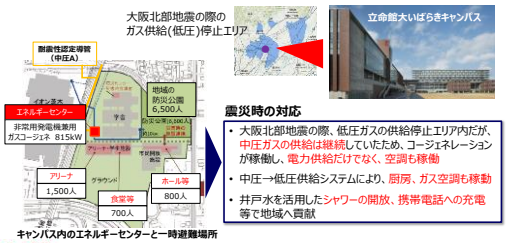
行政	実施場所	開始日
高槻市	高槻総合体育館	
	大阪ガス北部事業所	6月19日
茨木市	茨木市民体育館	
摂津市	テイネン株式会社駐車場	6月20日

24

立命館大学いばらきキャンパスさま（中圧供給、防災対応コージェネ）

立命館大学 大阪いばらきキャンパスさまは、「アジアのゲートウェイ」「都市共創」「地域・社会連携」をコンセプトに、地域に開かれたキャンパス（災害時の地域住民の一時避難場所等）を整備

中圧供給と防災対応型コージェネレーションの導入により、平時は省エネ・省CO2を実現し、災害時はキャンパス内の一時避難場所、および隣接する茨木市防災公園への電力供給をおこなう



震災時の対応

- 大阪北部地震の際、低圧ガスの供給停止エリア内だが、中圧ガスの供給は継続していたため、コージェネレーションが稼働し、電力供給だけでなく、空調も稼働
- 中圧→低圧供給システムにより、厨房、ガス空調も稼動
- 井戸水を活用したシャワーの開放、携帯電話への充電等で地域へ貢献

ウィズガス　25

以上

ご清聴、ありがとうございました。

ウィズガス　26

◎ニコニコ箱報告

・皆出席内祝　　内本君、山口君
・創業記念内祝　松尾君
・これからも安全に安定してガスをおとどけします。卓話を聞いて頂いて。　深野君
・伊藤君
・卓話を聞いていただきありがとうございました。　光本君

本日の合計　　￥　30,000-
7/1 よりの累計　　￥　927,000-

◎R 財団への寄付

内本　繁　君　￥5,000-

本日の合計　　￥　　5,000-
7/1 よりの累計　　￥　420,000 -
一人当たり平均　$ 73.53

◎米山奨学会への寄付

松尾　浩　君　￥5,000-

本日の合計　　￥　5,000-
7/1 よりの累計　　￥　297,500-
（会員より　￥　170,000-
ｸﾗﾌﾞより　￥　127,500-）
一人当たり平均　￥5,833-

◎青少年育成基金への寄付

伊藤　智秋君　￥5,000-
河合　一人君　￥10,000-（忘年家族会・多数のご参加をお待ちしております）
松尾　浩　君　￥5,000-

本日の合計　￥ 20,000-
7/1 よりの累計　￥ 480,000-